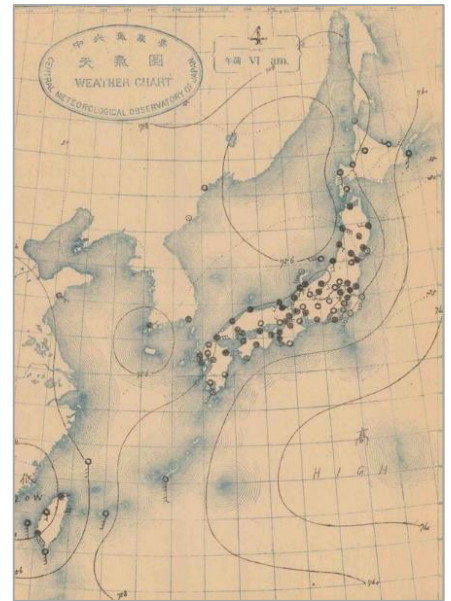


# 大正 8 年 7 月洪水

【大正 8 (1919) 年 7 月 1 日～5 日】

## ■気象の概要

この年の梅雨期は、7月に入ると中国地方に前線が停滞し、各地で1日～5日にかけて連日降雨が続きました、特に4日には浜田で203mm、広島で151mmなどの豪雨を観測しています。雨の降り方は、広島の時間雨量の経過をみると、突出した激しい時間雨量はありませんが、5～20mm程度の雨が終日続いています。『福山水害誌』にも「雨は7月1日午前11時より降り始め、三日三晩降り続き4日午後、芦田川の水量増嵩し」とあります。5日からは雨はしだいに弱まり、8日以降は中国地方で降雨はほとんどありません。梅雨前線は北に上がり梅雨が明けており、1日～5日の降雨は典型的な梅雨末期の大雨とみられます。



7月4日午前6時天気図

【出典：気象庁「天気図」、加工：国立情報学研究所「デジタル台風」】

## ■7月1日～5日の雨量

日	広島	呉	岡山	浜田	下関	境港	(mm)
7月1日	20.9	15.3	5.4	2.6	35.0	-	
7月2日	61.6	91.3	27.4	18.9	71.0	15.1	
7月3日	44.2	41.9	7.4	32.4	39.6	19.8	
7月4日	151.4	98.1	99.4	202.6	61.9	40.4	
7月5日	10.6	8.4	38.9	7.4	12.7	71.6	
計	288.7	255.0	178.5	263.9	220.2	146.9	

(出典：気象庁HP「過去の気象データ」)

## ■被害の状況

この大雨では中国地方各地で被害が出ていますが、最も大きな被害となったのは広島県東部の芦田川流域でした。1日からの雨で増水し始めた芦田川は、4日

午後には神辺方面で氾濫し、5日午前には右岸側の郷分地区で破堤、右岸下流一帯が浸水しました。当時、芦田川の下流は芦田川本川と鷹取川に分派して流れており（次p図）、鷹取川に架かっていた軽便鉄道の木橋に上流から藁ぶきの家屋が流れ着き洪水流を遮り、これによって左岸側の野上堤防も約200mにわたって決壊し、福山市街地（大正5年市制施行）から南部は一気に濁流に飲み込まれていきました。市街地の南にあった福山歩兵第41連隊（現、福山市緑町公園一帯）では、水深は5尺5寸（約1.6m）に達したとされ、さらに南の川口村では全村約800戸のうち、流失7戸、全壊93戸、半壊103戸、床上浸水568戸とほぼ全てが被災しました。

この洪水による芦田川流域全体の被害は、死者23人、家屋全壊226戸、半壊190戸、床上浸水770戸、床下浸水5,468戸などとなっています。また、同年9月14日には台風の影響で芦田川流域は再び被害を受けました。これらの洪水を契機に、芦田川では大正12年(1923)から直轄改修事業が開始されます。

## ■各県の主な被害

鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
家屋流失2、半壊14、床上浸水437、床下浸水664	死者11、家屋全半壊273、橋梁流失491	死者11、住家全半壊97、浸水2,611	死者23、家屋全壊226、半壊190、床上浸水770、床下浸水5,468(芦田川流域のみ)	死者5、家屋倒壊又は浸水2,346



福山市霞町の浸水状況

【災害写真2点出典：広島県立文書館「資料デジタル画像」】



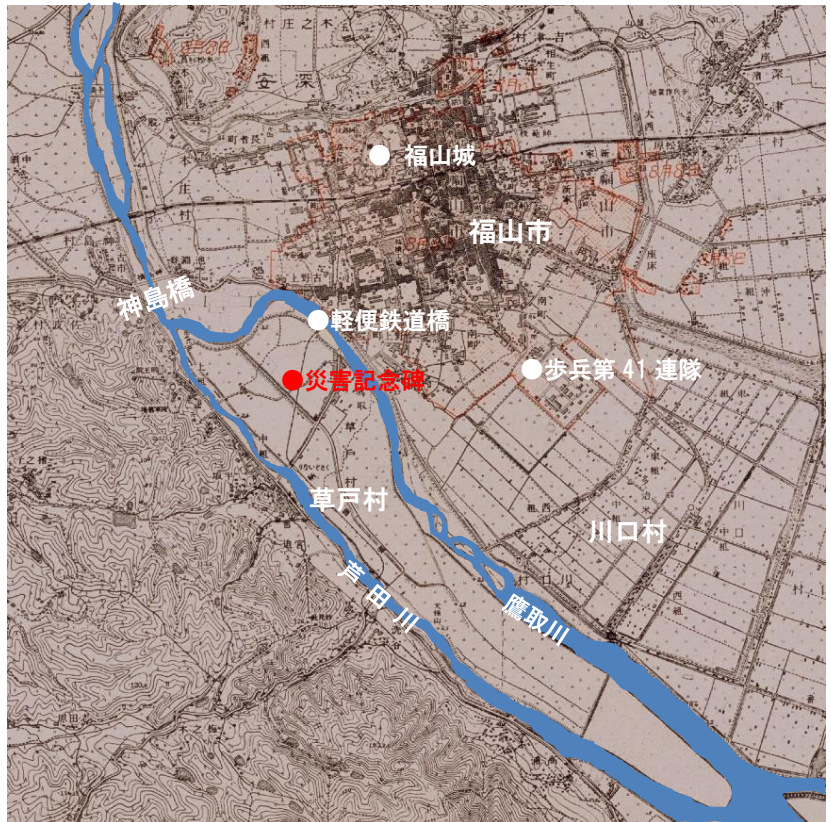
芦田川堤防決壊口（広島県福山市古野上町付近）

## 災害の記憶を伝える



草戸の災害記念碑（広島県福山市草戸町2丁目）

福山周辺で洪水により亡くなった17人の慰霊と併せ、大正15年の芦田川改修起工を記念する碑は、昭和2年に当時はまだ中洲だった草戸に建立されました。



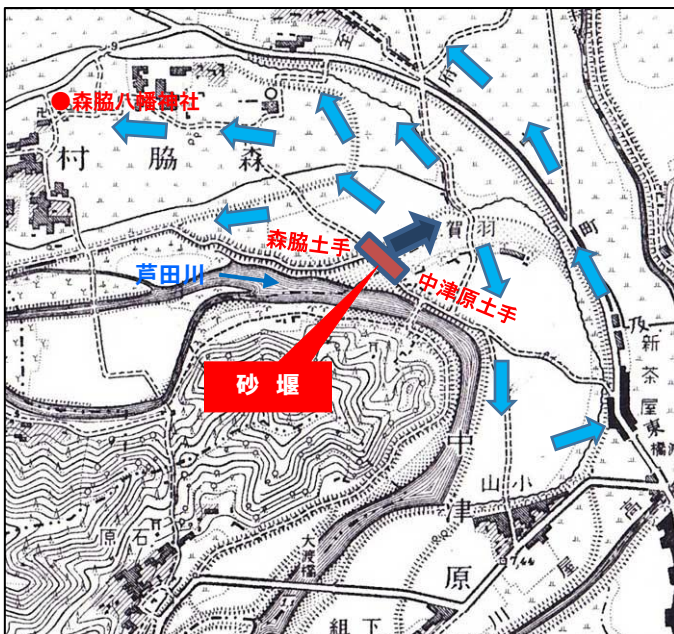
改修前の芦田川下流及び関連事項位置図  
【「福山市戦災復興図」(昭和20年)に加筆】

※碑の写真をクリックすると位置が表示されます

## トピックス

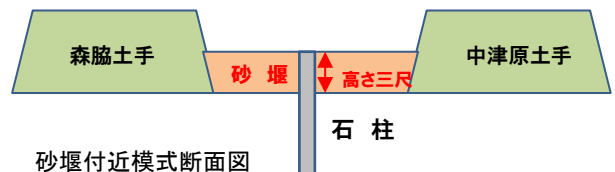
### ■羽賀の砂堰と三尺石柱

江戸時代、芦田川が大きく湾曲する森脇・中津原村の土手の一部はわざと低くしてあり、ここで洪水を溢れさせ下流の福山城下を守っていました。明治時代になると、氾濫で痛手を被ってきた地区の人々は、ここに砂土手（砂堰）を築き洪水の侵入を防ぎましたが、そうすると今度は被害を受ける下流側とで度々対立が起きました。このため、妥協策として明治38年(1905)に石柱（高さ3.2m）が埋められ、上部3尺（0.9m）を地上に出し、その頂部まで砂堰を築いてよいと取り決められました。その後、芦田川の改修により砂堰や石柱は不要になりましたが、今も残る位置を示す碑や移設した石柱に当時の苦難が偲べれます。



砂堰の位置と洪水の流下方向

【大日本帝国陸地測量部、明治33年発行「福山町」図幅に加筆】



砂堰付近模式断面図



砂堰三尺石柱（昭和8年、森脇八幡神社に移設）



砂堰跡の碑（福山市御幸町大字森脇）【現在はゴルフ場敷地内】